

日頃から防災対策を強化
コミュニケーションを大切に
笑顔が見える支え合い
お互いに見守り支える仕組み
健康を守り応援するまち
健診・検診を推進

まさよ通信



一緒に考え、一つ先へ、一步を踏み出す郡上に。

令和8年度がスタートしました。議会だより89号で報告させて頂きました通り、この度文教民生常任委員会の長を務めさせて頂くことになりました。重責を感じつつ日々精進させて頂いております。より多くの方々のご意見やお話をおきかせ頂けると有難く思います。どうぞお気軽にお声がけをして頂けますようお願い申し上げます。「ぐじょうし木遊館 森のくじら」が9月にオープン予定です。一日も早い完成が待ち望まれます。

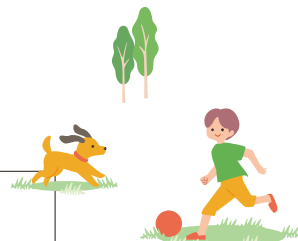
令和8年 第3回臨時会報告

令和8年4月16日

専決(条例)/報告2件 と常任委員会・議会運営委員会の選任など

● 文教民生常任委員会

委員長	田代まさよ	副委員長	大坪隆成
委員	野田かつひこ	長岡文男	山田智志 和田樹典



意見書

中東情勢の平和解決とエネルギーの安定供給を求める意見書 <全会一致>

令和8年 第4回定例会報告

令和8年6月11日から6月30日(最終日はゆかた議会)

条例関係(新規制定・一部改正、廃止)/R8年度補正予算/契約/市道路線の廃止/議発など31件 【一部抜粋】

● 郡上市基金条例の一部を改正する条例

寄付金を原資とした「郡上市カネコスポート基金」を設置

● 大和生涯学習センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例

公共施設適正配置計画に基づき、周辺施設に移転。耐震補強もなく老朽化が著しいため廃止
(大和生涯学習センターの機能は、図書館機能も含め大和振興事務所に移転します)

● ぐじょう木遊館の設置及び管理に関する条例の制定 (賛成多数で可決)

ぐじょう木遊館の設置に伴い、設置運営に必要な規定を整備するため
(入館は無料、市外在住者は大人500円、中学生以下200円)

● 工事請負契約の締結

郡上市偕楽園特別養護棟建設の施工者決定

電気設備：サンテック(株) 機械設備：(株)畑中水道 建築：(株)ヤマシタ工務店



請願

健康保険法等改正に係る過重な患者負担の軽減を求める意見書提出を求める請願書
<賛成少数で不採択>

議発

議会活動を高めるための特別委員会の設置

議員のなり手を促すための環境整備や議員の活動を高めるための方策などの調査研究

田代 まさよ

携帯 090-5036-3971
住所 郡上市白鳥町中西488-1
E-mail masayo.t4881@gmail.com

過去の通信が
閲覧可能



公式Webサイト

友だち登録で
毎号通信が届く



LINE友だち

6月定例会 私の質問と市の答弁

小中学校の課題などについて

質問 2024年4月に4つの小学校が統合し大和小学校となった。その後の成果と課題は。その課題をふまえ美並小学校にどのように反映するのか

答弁 熊田教育長

仲間関係が開放的になり、表現力や社交性が高まった。あいさつの声や歌声も大きくなった。大人数になったので、当然問題は起きるが問題をみんなで解決していくことを通して、より明るく活発になったと大和小学校の校長先生と教頭先生から伺った。統合により市内の教員定数が10人近く削減されたことで、令和6年当初教員配置ができたこともメリットと考える。美並地域の統合においても、予想される複式学級が解消され、郡南中と同じ敷地内での小中一貫校教育の推進により、今まで以上の専科教育ができるようになる。メリットがデメリットを上回る学校統合を目指す。市役所各部署と連携し地域の皆さんと共によりよい統合の在り方や地域づくりについて協議し統合事業を進める。

質問 この先の統廃合の在り方は

答弁 熊田教育長

郡上市学校体制検討委員会答申を踏まえた郡上市学校規模適正化計画案、学校教育施設再編行動計画、郡上市公共施設適正配置計画に基づき統合事業を進めている。美並小学校については、児童数の減少、校舎の老朽化、何よりも自治会、地域協議会、小学校・中学校・みなみ園の保護者の連名による要望を頂いたことを総合的に判断して統合に着手している。望ましい教育環境づくりに基づくことは基本であるが、学校区の児童生徒数の把握や、校舎の設備など耐用年数、地域の皆さんの思いを総合的に判断し対応したい。

質問 学校教員不足が課題となっている。市の教育水準を維持していくために今後の人材確保対策は

答弁 熊田教育長

教員の配置には、定数配置と定数以外に配置される加配がある。公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律で決まっている。市は、今年度当初定数のほかに小学校25名中学校12名の加配教員を配置することができた。多くの加配教員を配置できることは教育水準の維持に大変効果的である。市の退職された先生方が再任用や常勤講師を引き受けて下さった事と、常勤講師を探した学校教育課人事担当の努力の成果と考える。産休は人口も増え有難い事なので、補充は大変でもどんどん増やしてほしい休暇である。一方、病気休暇、特に精神的な病気は減らしていくよう働きやすい環境づくりに努める。教員数が減る中、学校統合は必要と考えるが、強引な統合は避けるべきである。何よりも郡上で暮らしたいと思う若者を増やすことが少子化対策となり、将来の教員確保にもつながると考える。

带状疱疹・子宮頸がんワクチンについて

質問 带状疱疹ワクチン及び子宮頸がんワクチンの接種促進に向けた市の取組みと周知方法は

答弁 山下健康福祉部長

带状疱疹ワクチンの令和7年度の接種率は26.0%、令和6年度の接種率は1.4%だったので令和7年度は定期接種の対象になった違いはあるが、大幅に増加している。令和7年度からはがきによる個別周知も行っている。子宮頸がんワクチン専用の相談窓口は設置せず、問い合わせ先に健康課を案内し、保健師が対応、かかりつけ医などに相談することもチラシなどで周知している。市内医療機関及び市外での接種できる体制を確保し、個別案内や広報誌、ホームページ等による周知を継続する。